

Ref. (3)

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑩特許出願公開
昭52-148970

⑪Int. Cl.
B 08 B 3/02

識別記号

⑫日本分類 庁内整理番号
92(5) A 412.1 6410-34
92(5) A 05 6410-34

⑬公開 昭和52年(1977)12月10日

発明の数 2
審査請求 未請求

(全 12 頁)

⑭シートパイル等の再生設備

⑮特 願 昭51-64140
⑯出 願 昭51(1976)6月3日
⑰発 明 者 小平欽之輔

横浜市港北区富士塚2の27の32
⑱出 願 人 丸藤シートパイル株式会社
東京都中央区日本橋小網町1丁
目2番3号 (曙ビル)
⑲代 理 人 弁理士 芦田直衛

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

発明の名称 シートパイル等の再生設備

特許請求の範囲

1. シートパイル等の供給装置、土砂利し装置、
圧力水による洗滌装置、洗滌済みシートパイル
等の排出し装置を一直線状に配列させ、かつ前
記供給装置と土砂利し装置の直下に、土砂排出
用のベルトコンベヤを配設し、その排出方向を
シートパイル等の供給方向とは逆になし、更に
その排出土を供給装置の給送側に設けた樋より上
げ装置により送出させ、一方洗滌装置から排出
される汚泥水は、これを汚水処理装置に導いて
浄化し、その浄化水を洗滌装置において循環利
用させるようにしたことを特徴とするシートパ
イル等の再生設備。
2. シートパイルの供給装置、土砂利し装置、圧
力水による洗滌装置、洗滌済みシートパイルの
排出し装置の各装置を一直線に配列せると共

に、供給装置と土砂利し装置の直下に設けたベ
ルトコンベヤの排出端に、往復動式の台車を設
備させ、この台車上に押送側の土砂投入端を設
置して、前記コンベヤによる排出土砂を受入れ
るようになし、一方前記排出し装置を、中央の
ローラコンベヤ、左右のシートパイル反転装置
で構成させて排出されたシートパイル等を前記
ローラコンベヤの延長上に形成させた貯蔵保管
エリアとその左右に位置する貯蔵保管エリアと
によって効率的に搬送させることができるよう
にしたことを特徴とするシートパイルの再生設
備。

発明の詳細な説明

本発明はシートパイルまたはH型鋼の再生処理
設備に関するもので、特に取込材として使用され
た後に回収されてきた前記シートパイルまたはH
型鋼等の未整備材料を、新品同様の整備品に仕上
げるための再生装置に係るものである。